

いきいき子ども！
あたたか家族！
はつらつ先生！
地域が支える
教育の板橋

学び合う、
学び続ける
人づくり！
地域を創る
教育の板橋

教育の板橋

新しい学校づくりを進めています！

区では、学校施設の老朽化への対応として、区立小中学校を改築・改修し、より充実した学校生活を送るための施設整備を進めています。新しい学校施設をよく知っていただくため、近年改築・改修された学校や、今後改築・改修予定の学校の魅力を紹介します。

1 オープンな学校図書館

オープンな学校図書館とは、子どもたちが多く行き来するオープンなスペースに本棚を設置している学校図書館のことです。学校図書館が常に開かれた状態となっていることで、子どもたちが本に触れる機会が増加し、本への興味や関心が深まるなどの効果が見込まれます。



上板橋第二中学校 学校図書館

2 教科センター方式の導入(中学校)

授業を「教科教室」という各教科の専用の教室で実施し、各教科の教材や展示物を設置できる「教科メディアスペース」というエリアを設ける学校運営方式を「教科センター方式」といいます。教科教室には、「ホームベース」という生徒各自のロッカーが設置された部屋が隣接して設けられています。

教科センター方式の学校運営により、生徒の自主性や、時間を意識する習慣が育まれるなどの効果が見込まれます。



中台中学校 教室・ホームベース・教科メディアスペース

3 環境に配慮した学校設備

学校施設の改築・改修を行う際に、屋上緑化や太陽光発電を導入するなど、環境負荷の低減につながる取組を行っています。

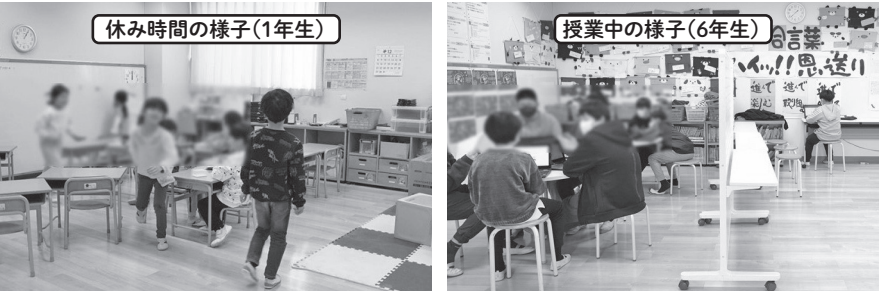
また、改築を予定している上板橋第一中学校、志村小学校・志村第四中学校小中一貫型学校は、断熱性に優れた建材や、効率の良い空調設備を導入することなどにより、更なる省エネルギー化に取り組む予定です。



上板橋第二中学校 ソーラーパネル・屋上緑化

4 オープンスペースの活用(小学校)

オープンスペースとは、学級単位の授業や活動を超え、多様な用途に活用できる空間のことです。授業の中でグループワークや発表、個人ワークを行う場所として活用できる他、休み時間中の児童の遊び場として、子どもたちの居場所の選択肢を広げることにつながります。



板橋第十小学校 オープンスペース

5 地域連携の充実につながる学校設備

「魅力ある学校施設」の整備にあたって重要な要素の一つとして、「学校と地域の連携」を掲げ、地域住民と児童・生徒が日常的に交流しやすいよう配慮し、地域に開かれた教育環境の実現に努めています。上板橋第二中学校に設置された「上二テラス」では、ボランティア団体と学校が協働してフードパントリー活動などを行っています。



上二テラス
フードパントリー活動

6 学校整備におけるユニバーサルデザイン

学校施設の改築・改修を行う際に、誰もが使いやすく、快適に過ごすことができるよう、バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した学校施設の整備を積極的に進めています。



上板橋第二中学校
バリアフリートイレ
志村第六小学校
車いす利用者も使いやすい水道設備

板橋区コミュニティ・スクール(iCS) ～iCSとは? iCSの取組について～

■板橋区コミュニティ・スクール(iCS)とは?

板橋区コミュニティ・スクール(iCS)は、学校の運営に保護者や地域の方が参画する「コミュニティ・スクール委員会(CS委員会)」と、教育活動を保護者や地域の方に支援していただく「学校支援地域本部」を両輪・協働の関係で運営する仕組みです。

「CS委員会」とは、学校運営や必要な支援について話し合うため、令和2年度から区内の区立全小中学校に設置している会議体です。特に、学校が抱えている課題をCS委員会で共有することで、保護者や地域の方が、学校とは違う視点で具体的な解決策について議論します。

「学校支援地域本部」とは、学校が必要とする活動について、地域のボランティアの方々が参加することにより、学校を支援する仕組みです。CS委員会で出た意見等をもとに、「地域コーディネーター」と呼ばれる方が学校と地域のボランティアをつなぎ、支援活動等の調整を行っています。これまで、各学校では地域のボランティアなどの協力を得ながら、学校運営や教育活動を行ってきましたが、学校支援地域本部はそうした取組をさらに広げるものです。

この「コミュニティ・スクール委員会(CS委員会)」と「学校支援地域本部」からなるiCSの仕組みを上手く活用し、学校・保護者・地域が一体となって様々な取組を行うことにより、先生が子どもたちと向き合う時間の確保や地域人材を活用した教育活動の充実を図り、子どもたちの豊かな学びの実現につなげていきます。

■上板橋第二小学校のiCSの取組を紹介します。

上板橋第二小学校ではiCSの取組として、令和7年2月25日(火)、子どもたちの居場所「ほっとルーム」を大学、企業との連携によりリニューアルしました。

ほっとルームは全ての児童が安心して教室以外で過ごすことができる「居場所」として、令和5年、同校内にオープンしました。しか

し、元は図書準備室であったことから装飾等もなく「居場所」としては味気ないという声が児童や学校関係者からあがっていました。そこで、ほっとルームをもっと身近な居場所にし、児童の誰もがより過ごしやすい空間をつくるために、ほっとルームリニューアルプロジェクトがスタートしました。

まず、CS委員会でほっとルームのリニューアルを学校の課題として挙げ、保護者や地域の方々が意見を出し合いました。その中で、女子美術大学の講師でもある地域コーディネーターが「ヒーリングアートについて学ぶ女子美術大学の学生たちの協力があれば、児童のより良い居場所としてほっとルームが生まれ変わるかもしれない」と提案しました。

地域コーディネーターから女子美術大学に呼びかけたところ、卒業生も含む約15名が有志として制作に参加しました。また、区内企業「リンテック(株)」に話を持ち掛け、企業の地域貢献事業として、シートパネルなど装飾の一部を無償で提供していただけることになりました。事前準備や施工サポートは学校支援地域本部「上二つ子応援団!」のボランティアも参加し、地域の力が集結したほっとルームが完成しました。

リニューアルされたほっとルームは部屋全体に施されたアートにより、心温まる部屋となりました。「絵本のまち板橋」からも着想を得たデザインコンセプトは「おはなしの森」。児童が安心して過ごせる場所を作りたいという想いから、「ものがたり」をテーマにデザインされています。校長は「幼小小の連携を進め、近隣子どもたちがふらっと来て、立ち寄れる部屋にもなってほしい」と話しています。



上板橋第二小学校 ほっとルーム

問 合

地域教育力推進課地域連携係 ☎3579-2619

主食・主菜・副菜をそろえよう ～栄養バランスを整えるコツ～

健康な毎日を送るためには、栄養バランスのとれた食生活が欠かせません。「主食・主菜・副菜」がそろった食事を心がけましょう。

■主食・主菜・副菜ってなに?

「ご飯」と「おかず2品」を基本とした、和食の献立形式の一つです。主な食材が異なる3つの料理を組み合わせることにより、多様な食品を摂ることができます。和食に限らず「主食・主菜・副菜」をそろえる習慣があると、栄養バランスが自然と整いやすくなります。

学校給食は「主食・主菜・副菜」を考えて作られています。料理の組合せや1食の量の参考にしてみてください。

板橋区食育キャラクター



学校給食を食べる時も、どの料理が
主食・主菜・副菜にあたるか
考えてみてほしいっい♪



■主食・主菜・副菜をそろえてみよう!

「主食・主菜・副菜」をそろえる習慣は、ご家庭で日々の献立を考える時にも役立ちます。例えば、親子丼(主食+主菜)に具沢山の汁物(副菜)を組み合わせれば3つがそろいますので、皿数にこだわる必要はありません。総菜を買う時や外食先などでも、まずは「どの料理を足したら3つそろえるかな?」という視点で選んでみましょう。

毎食「主食・主菜・副菜」をそろえるのが難しい場合は、1日単位でバランスの良い食事に近づけるようにしましょう。朝食に副菜が摂れない時は、その日の夕食で副菜を多めにするなど、ご自身の生活スタイルに合わせて、栄養バランスを整えるコツを見つけてみてはいかがでしょうか。

問 合

学務課学校給食係 ☎3579-2617

氷川図書館の長期休館及び 臨時窓口の開設について

氷川図書館は蔵書点検、バリアフリー化工事及び一部内装の改修工事のため、下記の期間休館します。

なお、旧板橋第九小学校に臨時窓口を設置し、予約資料の貸出・返却等を行います。

休館期間：令和7年9月1日(月)から
令和8年3月2日(月)まで

臨時窓口開設期間：令和7年10月6日(月)
から令和8年2月8日(日)まで

開設時間：午前9時から午後8時まで

※毎月第3月曜日、月末日(土・日・祝日の場合は翌営業日)、年末年始(12月29日から1月4日)は休館します。

○利用できるサービス

予約資料の貸出 予約申込 返却 利用登録

※返却ポストは臨時窓口にはありません。臨時窓口の受付時間外に資料を返却する場合は、氷川図書館の返却ポストをご利用ください。

○休止するサービス

資料の閲覧 閲覧席の利用 インターネット閲覧サービスの利用
未所蔵本リクエストの受付 レファレンス 複写サービス 新聞・雑誌の閲覧 二次利用資料提供 など

詳細は、区立図書館ホームページをご覧ください。



■電子図書館について

板橋区電子図書館サービスはこちらにアクセスしてください。



問 合

中央図書館図書館政策係 ☎6281-0291

「身近な教育委員会」を開催しました

令和7年5月26日に身近な教育委員会を開催しました。夜間の開催にも関わらず、多くの方にご参加いただきました。

第1部の前半では山口教育委員に「心を育む読書の大切さ」として、「予測がしにくい時代に次の時代を作っていくための1つの方法として読書を通じて共感力を育み、新たな時代を作っていこう」といった講演をしていただきました。後半では中央図書館長より「読書率向上の坂を上る」として区立図書館で行っている取組について説明しました。

第2部ではグループに分かれ、「読書を習慣づけるために家庭・学校・地域でできること」について熟議を行い、様々な立場の方からいろいろな意見が出されました。その一部をご紹介します。

- 親も子どもと一緒に本を読み、一緒に感想を言い合うことで、共感力を高め、親睦を深めていくことができるのではないか。
- 家族で図書館や書店に行く習慣をつけたら、家庭で読書の時間をつくる。
- 図書室を学校の中心に据える。
- 地域の中に身近に本が置いてある場所をつくる。



第2部の様子

この他にも様々な意見が出されました。より詳細な報告はホームページからご覧ください。
次回の身近な教育委員会は令和7年11月ころを予定しています。みなさまのご参加お待ちしております。

問 合

教育総務課庶務係 ☎3579 - 2603

図書館のサービスを拡充します

区内図書館は9月25日(木)～9月30日(火)まで休館し、10月から新しいサービスを開始します。

ぜひ図書館をご利用ください。

■新サービスの一例

- ・利用カードのスマートフォン表示
スマートフォン等の画面に、利用カードのバーコードを表示できるようになります。
- ・今までに借りた本を記録できます
設定することで過去に借りた本の履歴をWEBから閲覧できるようになります。
- ・未所蔵本WEBリクエストの受付(区内在住者のみ)
未所蔵の本・雑誌のリクエストをWEBからできるようになります。リクエストのために窓口に来館する必要がなくなります。
- ・地域図書館にてフリーWi-Fi提供
地域図書館でも中央図書館と同じように公衆無線LAN(Wi-Fi)が利用できるようになります。調べ物などにご活用いただけます。
- ・中央図書館にて予約席の拡充
3階の一部閲覧席を予約席とします。館内のセルフ端末から予約ができるようになり、WEBからも予約ができるようになります。



問 合

中央図書館図書館政策係 ☎6281 - 0291

「学校安全ボランティア協力者募集」

～地域の子どもの安全のためにご協力ください～

児童の登下校時の安心・安全を守り、重大な犯罪を未然に防止するため、地域のボランティアによる「いたばし子ども見守り隊」、「スクールガード」を設置しています。小学校ごとに登録いただき、子どもたちの見守り活動をしていただける方を随時募集していますので、ぜひご協力をお願いします。

■いたばし子ども見守り隊

散歩や買い物、外回りの掃除などを児童の登下校時間に合わせて行い、声かけなどで、児童の安全を見守ります。「できるときにできることをやる」を基本にご協力いただきます。

■スクールガード

見守り隊の活動からさらに踏み込んで、登下校時の児童の安全確保のために、通学路やわき道などを防犯パトロールし、犯罪に巻き込まれることを抑止する活動を行っていただきます。

■申込(登録)

いずれもお近くの小学校へ直接お申し出ください。随時受付しています。

問 合

地域教育力推進課地域連携係 ☎3579 - 2619

小・中学校の新入学のご案内を配付します

区内在住で、令和8年4月に区立小・中学校に入学予定の方に、新入学手続きをはじめ、各小中学校の基本情報などを掲載した「新入学に関するご案内」を配付します(新小学1年生には郵送で、区立小学校に通う6年生には在学期間で、9月上旬に配付予定)。

●通学区域の学校への入学を原則とします

区では、住所ごとに入学する学校が指定される通学区域を定め、通学区域の学校を入学予定校としてお知らせしています。通学区域の学校へ入学する場合は、手続きなしで優先して入学できます。

●通学区域外の学校への入学を希望する場合は、手続きが必要です

理由があって入学予定校の変更を希望する場合は、学務課(区役所北館6階⑭窓口)、区立小中学校(新小学1年生の書類は区立小学校のみ)、区ホームページにある入学予定校変更希望願に必要事項を記入のうえ、お申し込みください。変更希望の理由が一定の基準に該当した場合、変更希望は認められますが、希望者多数で抽選となる場合もあります。手続きについての詳細は、「新入学に関するご案内」をご覧ください。

●入学予定校を変更する場合は慎重に検討してください

変更する学校が入学予定校より遠くなる場合、登下校の時間が負担となるだけでなく、下校後や休日に友達と遊ぶ場所も自宅周辺ではなく、離れた場所になります。また、弟(妹)について、同じ学校への入学が約束(決定)されるものではありません。

変更を希望する場合は、学校公開や学校ホームページなどで学校についてご確認のうえ、通学時の安全性など様々な観点から慎重に検討してください。

●変更希望できる学校の範囲

- ・小学校…通学区域に隣接する区域の学校(適用除外校を除く)
- ・中学校…区内全域

●申込・締切

直接または郵送で、学務課学事係(区役所北館6階⑭窓口、〒173-8501)

郵送する場合は9月26日(金)消印有効、直接持参する場合は9月30日(火)17時まで

問 合

学務課学事係 ☎3579 - 2611

教育広報への意見を募集します

より良い広報紙作成のため、みなさんからのご意見・ご提案を募集します。

▽提出方法＝郵送・FAX・Eメール ▽問合＝教育総務課庶務係(〒173-8501)
☎3579 - 2603 ☎3579 - 4214 ✉kyosho@city.itabashi.tokyo.jp

板橋区のお寺の「宝物」 ～お寺の資料から板橋の歴史を知る～

■板橋区のお寺の資料と文化財調査

現在、区内には約50のお寺があります。赤塚の松月院や徳丸の安楽寺、東新町の安養院、前野町の常楽院など、聞いたことがあるのではないのでしょうか。

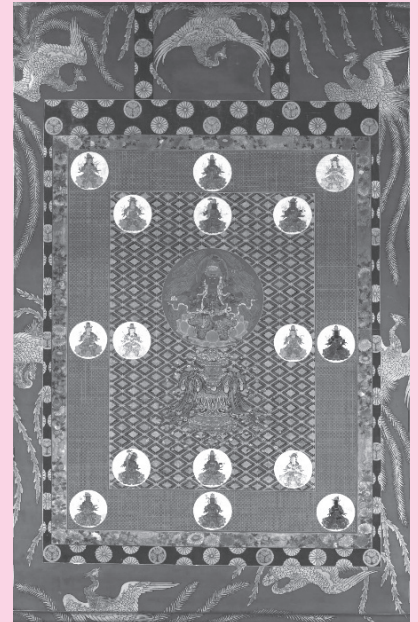
お寺には、地域の歴史を伝える「宝物」があります。たとえば、仏像・仏画・お経・昔の文字で書かれた記録や手紙(古文書)などです。これらは、お寺や地域の人々が「心の拠り所」として代々大切に守り伝えてきたもので、区のお寺の歴史や信仰文化を知る手がかりになる資料として重要なものです。

区では、今から約40年前に区内のお寺をいっせいに調査しました。この調査によって各お寺にどのような資料があるかがわかるようになりました。しかし、それぞれの資料の詳しい調査は行われていなかったため、近年、調査・研究を行っています。その結果、昔住んでいた地域の人々と「心の拠り所」となるお寺との関係を解き明かす重要な資料があることがわかってきました。資料からは、今も身近な存在であるお寺と、そのまちに昔住んでいた人々との結びつきを知ることができます。

■日曜寺(大和町42-1)

約300年前に始まったと伝わる真言宗霊雲寺派のお寺。徳川将軍家の一門である田安宗武(8代将軍徳川吉宗の二男)が、家の発展や安全を願うためのお寺として、日曜寺をととても大事にしました。そのため、田安宗武やその家族が贈った仏画などがお寺に伝わっています。なかでも、日曜寺の本尊「愛染明王」を描いた愛染曼荼羅は縦約3m、横約2mの大きさがある仏画です。このほか、田安宗武の七男、松平定信が書いたお寺の看板(扁額)があります。

また、「あいぜん」が「藍染」と音が似ているので染め物職人にとっても大切なお寺とされていました。そのため、職人たちが愛染明王への尊敬や祈りをこめて日曜寺に贈った石造物や額などもあります。



あいぜんまん だら
愛染曼荼羅(板橋区登録有形文化財(歴史資料)
「日曜寺田安家奉納仏画」のうち)
※通常非公開

問 合 生涯学習課文化財係 ☎3579-2636

今から準備！ 子どもの健康を守る秋冬の感染症対策

1 秋冬シーズンに気を付けたい学校感染症

お子さんが学校感染症にかかった場合、急性期や症状がある間は学校保健安全法により、登校を控えて自宅療養が必要です。この「出席停止」期間は欠席扱いにはなりません。回復後、医療機関が発行する出席届を学校へ提出してください。

(1) インフルエンザ

- ・38℃以上の急な発熱と強い全身症状(頭痛、関節痛、筋肉痛など)が特徴です。
- ・発熱後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで出席停止です。10月から予防接種が可能です。

(2) 新型コロナウイルス感染症

- ・発熱、のどの痛み、咳、倦怠感、頭痛などの他に味覚・嗅覚障害が出る場合があります。
- ・出席停止期間は、発症後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで。

(3) 感染性胃腸炎・ノロウイルス感染症

- ・11月～2月が流行のピークです。主な症状は嘔吐、下痢、腹痛、発熱です。予防は手洗いと食品の十分な加熱(85℃以上で90秒間)です。感染者の嘔吐物や排泄物の処理に注意しましょう。

(4) 今シーズン注意したい学校感染症

① マイコプラズマ感染症

- ・長引く咳と発熱、頭痛、全身倦怠感が特徴です。夏から秋にかけて増え、抗菌薬による治療が必要です。急性期は出席停止、全身状態が良ければ登校可能です。

② 百日咳

- ・特徴的な咳発作(連続する咳込みの後に「ヒュー」という息を吸う音)があり、夜間に悪化することが多い呼吸器感染症です。特有の咳が消失するまで、または5日間の適切な抗菌薬療法が終了するまでは出席停止です。

③ 水痘(みずぼうそう)

- ・発疹・水疱が全身に広がります。潜伏期間が長く、空気感染で広がるため学校で流行しやすい感染症です。水痘と診断されたら、すべての発疹がかさぶたになるまで出席停止です。

④ 麻疹

- ・目の充血や目やにの増加、咳・鼻水、発熱、口の中の白い斑点が特徴です。麻疹は感染力が非常に強く、重症化リスクが高い感染症です。予防接種が最も有効な対策です。解熱後3日を経過するまで出席停止です。

2 効果的な予防対策と免疫力を高める生活習慣

- ・手洗い・うがい、咳が出る時はマスクを着用しましょう。
- ・室内の適切な換気と湿度管理(冬季：40～60%の湿度)は有効です。
- ・十分な睡眠と栄養バランスの良い食事を心がけましょう。
- ・毎日の適度な運動と外遊びは免疫力を高めます。
- ・予防接種を受けていますか？ まだお済みでないものがあればかかりつけ医に相談しましょう。

問 合 学務課学校運営保健係 ☎3579-2616

